

今月号の紙面

令和2年度東京都予算の概要	2	面
地域団体からの活動報告	2	面
東京都からのお知らせ	2	面
工団連からの活動報告・お知らせ	3	面
東京ビッグサイトとからのお知らせ	3	面
会長表彰受賞者名簿	4	面
来賓名簿	4	面
連載企画「企業リレー探訪(板橋産業連合会)」	4	面

工団連

発行所
 一般社団法人 東京工業団体連合会
 東京都中央区銀座2-10-18
 東京都中小企業会館5階
 電話 (03) 3546-2525
 F A X (03) 3546-2853
 (購読料1部100円、年間600円 会費より徴収)
 http://www.tokyo-koudanren.or.jp

令和元年 東京工団連会長表彰式典

永年勤続、功績をたたえ78名を表彰

46回目となる東京工団連会長表彰式典が、1月29日に銀座プロックスにおいて開催された。表彰対象は、団体役員表彰6名、従業員表彰72名の計78名で、受賞者にはその功績を讃え舟久保会長から表彰状と記念品が贈られた。(受賞者名簿は4面)

第一部・記念講演

表彰式典は銀座プロックス「マーガレット」にて、午後2時30より開催された。

第一部は表彰式典に先立ち記念講演が行われた。講演は、(株)マテリアル代表取締役・下町ボブスレー推進委員会 元GM 細貝淳一氏による『平昌オリンピック後の下町ボブスレーの取組』と題して行われた。



会長式辞

中々培われた経営に対する明確な哲学・ポリシーが語られた。それは、「ものづくりの代表地域とおたのブランド力強化と地域連携による技術力の発信」であり、その実現の手段として「様々な要件の絞り込みにより、下町ボブスレープロジェクトが誕生した」こと。

その後は、「大企業を含む多くの地域の仲間との連携・協力のもと技術力を結集し、最高水準を自負する事が完成。しかしながら、結果的には「性能以外の諸理由」



謝辞を述べる山下昌明氏

により採用には至らなかった」ことなどが述べられた。とは言え「地域の仲間との連携・協力、また中小企業にはない組織力・技術力・資本力を有する外部の大企業とのネットワークの形成など生み出した成果は多大」であり、また「次に向けた様々なテーマの開発も進められているなど今後への期待も大きい」とした。これまでの豊富な活動に基づく成果・知見による講演は、理路整然とした語り口もあり、1時間の予定はあつという間に終了。興味深い講演に、参加者全員が時間を忘れて耳を傾けた。最後は、舟

第二部・表彰式典

久保会長の締めにより講演会は終了した。

続いて若干の休憩をはさみ第二部の表彰式典が行われた。廣瀬副会長の開会の辞に続き、片平副会長より選考経過の報告があった。選考委員会での慎重な審査により受賞者の選考がつつがなく終了したことが報告された。

その後、舟久保会長より表彰状授与が行われた。役員表彰は、受賞者3団体の6名を代表して(株)日生不動産 小能大介氏(一般社団法人文京区商工協会) 共立速記印刷(株) 吉岡新氏(一般社団法人富坂産業協会) 西貝自



記念講演 講師・細貝淳一氏

(渋谷区工業協会) 東洋ドライル(株) 河合正之氏(公益社団法人世田谷工業振興協会) 五十嵐冷蔵(株) 高田雄介氏(三期田工業会) (株)東京製鉄所 結城秀雄氏(一般社団法人品川産業協会) 内外出版(株) 佐藤修氏(一般社団法人目黒区産業連合会) 関越物産(株) 山下昌明氏(一般社団法人豊島産業協会) 森本鐵鋼産業(株) 神宮司さわか氏(一般社団法人板橋産業連合会) の8名に賞状と記念品が授与され授賞式はつつがなく終了した。

盛大に賀詞交歓会開く

第三部・賀詞交歓会

開催された。

祝賀会・新年賀詞交歓会は会場を「ジャズミン」に移し引続き4時30分より多数の来賓・会員・受賞者の参加のもと盛大に

片平副会長の開宴の辞に引続き、舟久保会長が再度挨拶した。初めに、「ご多忙のなか出席頂いたご来賓の皆様、これまでの多大なる支援に対する謝意を述べた。更に「ものづくり中小企業を取り巻く環境は国内外における課題



祝賀会・新年賀詞交歓会



祝辞を述べる多羅尾 東京都副知事

が山積し不安定・不透明な状況が継続している」とし、「文字どおり東京都全体を力パする中小ものづくり企業の団体としての役割を果たし」東京のものづくりを確固たるものにすべく「各種助成事業を通じ会員団体・企業への支援や多摩地域をはじめとした各地域での会員拡大や中小企業支援施策の普及・啓蒙によ

る謝意を述べた。更に「ものづくり中小企業を取り巻く環境は国内外における課題

けるものづくりの重要性は昔から変わることなく、これまで東京の産業を支えてきたものづくり中小企業をさらに発展させるために一層の意欲的な取組」を呼びかけた。さらに続けて、「先日発表された来年度予算案にもあるように、東京都は今後も引き続き工団連への積極的な支援を続けていくこと」を表明した。

最後に、受賞者を代表して関越物産の山下昌明氏豊島産業協会がこれまでの会社や諸先輩からの助力への感謝と今後さらに精進し会社や地域社会の発展に寄与していきたい」と謝辞を述べ、式典は戸矢崎副会長の閉会の辞をもって終了した。

挨拶では、「ものづくり企業を支える、都内唯一の工業団体としての工団連の活動をしっかりとサポートすべく、予算要望の内容を反映させたい」とし、特に中小企業の人材育成やネットワーク維持の活動を、今後も東京都と一体となり継続的・積極的に支援する」との力強い言葉を戴いた。

その後、都議会議員、東京都並びに関係機関・団体のご来賓の紹介が行われた。

引続き、戸矢崎副会長の乾杯の首領で開宴、来賓と各受賞者、地域団体会長や工団連役員が和やかに歓談した。

その後しばしの歓談の後、パーティーは広瀬副会長の中締めにより盛会のうちに終了した。

(来賓一覧は4面)

令和2年度 東京都予算の概要

東京都は1月24日に令和2年度予算原案を発表した。今回は、一般会計の予算規模は7兆3,540億円(前年度比1.4%減)、政策的経費である一般歳出は5兆5,332億円(前年度比1.2%減)で対前年比ではマイナスとなった。

位置づけ、次の点を基本に編成されたとしている。

- ①東京2020大会を確実に成功へと導き、次世代へ継承するレガシーを創り上げること
- ②都政が直面する諸課題に迅速かつ的確に対応するとともに、Society 5.0の実現に向けた施策など、東京が成長を生み続ける成熟都市として進化を図るための取組を積極果敢に進めること
- ③将来にわたる施策展開を支えるため、都政改革を更に進め、ワイス・スパENDING(賢い支出)の視点により無駄の排除を徹底し、財政基盤をより強固なものとする

◇ その中で主要な予算建

- ②, 407億円 (対前年比10・1%増)
- 都市の整備
- ⑧, 684億円 (対前年比0・8%減)
- 警察と消防
- ⑨, 221億円 (対前年比2・0%減)
- 企画・総務
- ⑤, 717億円 (対前年比1・9%減)
- 福祉と保健
- ①兆2, 801億円 (対前年比1・6%増)
- 教育と文化
- ①兆2, 087億円 (対前年比2・0%減)
- 労働と経済
- ④, 415億円 (対前年比9・3%減)
- 生活環境

工団連と地域団体共催 講演会が開催されました

1月17日工団連と世田谷工業振興協会共催の記念講演会が開催された。会場は三茶しゃれホールには、会員・行政関係者等に一般市民も多数来場し関心の高さが伺えた。

講演は『東アジア・東南アジアの政治経済情勢』と題し、日本台湾交流協会理事長谷崎泰明氏により行なわれた。同氏は外交官OBであり、ベトナム、インドネシア両国での特命全権大使を歴任するなど外交のエキスパートである。そうした経歴に裏打ちされた現地情勢の的確かつ具体的な理解に基づく1時間強に亘る講演に参加者は時間を忘れて聴き入っていた。また、質疑応答においても豊富な経験と現地理解に基づく的確な説明で参加者からは高い評価がなされた。

工団連では地域団体との共催講演会を推進しており各団体からの申請をお待ちします。



共催講演会の様子

地域団体からの報告

大田、世田谷の4地域団体を活用した活動を紹介します

展示会出展・講演会の開催 など「ものづくり支援活動」を活発に展開

工団連加盟の3地域団体が『展示会』に出展し活動なものを支援活動を展開した。

『ものづくり基盤技術強化支援事業』の助成制度を活用した活動を紹介します。大田工団連が「助成制度」を活用し「ものづくりフェア」に参加。『テフニカルショウヨコハマ』は2月5日～7日の3日間パシフィコ横浜で開催された。今年度も所属の7社が出展。期間中は多数の来場者に積極的なPR活動を展開し



大田工団連青年部共同ブース



蒲田工業協会共同ブース



世田谷工業振興協会ブース

進められるなど活動の成果も期待され、ブースに来場した防災関係者との情報交換や今後の引合いに期待がもてる。

一方、1月28日には、大田工団連傘下の(一社)大森工場協会の「ものづくり企業経営を考へる」を開催。当日は多くの会員企業・関係者が参加し(株)今野製作所今野浩好社長の講演に熱心に聞き入った。同社は地域の小規模製造業のデジタル化と技能人材教育に積極的取組んでおり、経営姿勢は会員企業経営者に大いに刺激となった。

助成金を活用した本展示会への出展は平成26年度より連続している。その結果、出展企業の認知度も年々高まり引合い・商談などの実績や展示会出展へのノウハウのた。

また、2月6日～7日(金)の2日間、大田区産業プラザPiOで開催された「おたの工業フェア」には、大田工団連傘下の蒲田工業協会が今年も昨年をさらに上回る11回都議会議定例会で審議される。

ブースでは、各企業が自社の製品をアピールし、他、協会ブースでは、共同開発中の「金属に反応しない車椅子(試作模型)」を展示し注目を集めた。同品は実用化を目指し協会が中心となり、同会会員企業が共同で開発しているもの。会員企業とその後も検討会が

東京都では、就職の機会均等を確保するために、応募者の基本的な人権を尊重した公正な採用選考を実施するよう、事業主の皆様方に協力をお願いしています。

公正な採用選考の考え方についてはご理解いただき、差別のない公正な採用選考の実施に向けて積極的に取組をお願いいたします。

＜公正な採用選考とは＞

- ①採用選考の基本的な考え方
- ②公正な採用選考の考え方
- ③採用選考の基本的な人権を尊重すること
- ④応募者の適正・能力のみを基準として行うこと
- ⑤公正な採用選考の考え方
- ⑥公正な採用選考の考え方
- ⑦公正な採用選考の考え方

公正な採用選考に向けて

東京都からのお知らせ

採用選考を行う企業の皆さまへ

- 採用基準を明確にしておく
- ①「本籍・出生地」
 - ②「家族」(職業・続柄・健康・地位・学歴・収入・資産など)
 - ③「住宅状況」(間取り・部屋数・住宅の種類・近隣の施設など)
 - ④「生活環境・家庭環境」
 - ⑤「宗教」
 - ⑥「支持政党」
 - ⑦「人権・生活信条」
- 採用基準を明確にしておく
- ①「本籍・出生地」
 - ②「家族」(職業・続柄・健康・地位・学歴・収入・資産など)
 - ③「住宅状況」(間取り・部屋数・住宅の種類・近隣の施設など)
 - ④「生活環境・家庭環境」
 - ⑤「宗教」
 - ⑥「支持政党」
 - ⑦「人権・生活信条」
- 採用選考を行う際の留意事項
- ⑧「尊重する人物」
 - ⑨「思想」
 - ⑩「労働組合(加入状況や活動歴など)」「学生運動など社会運動」
 - ⑪「購読新聞・雑誌・愛読書など」
 - ⑫「身元調査など」の実施
 - ⑬「全国高等学校統一応募書類・JIS規格の履歴書(様式)」の使用
 - ⑭「合理的」
 - ⑮「客観的」
 - ⑯「客観的に必要と認められない採用選考の実施」
 - ⑰「健康診断」
 - ⑱「採用のための作文は、チームへの理解や自分の考え方を整理して文章で他人に伝える能力など、求める職種の職務遂行に必要な適性能力(知識)を判断するために実施する(8)適性検査・面接」
 - ⑲「採用のための作文は、チームへの理解や自分の考え方を整理して文章で他人に伝える能力など、求める職種の職務遂行に必要な適性能力(知識)を判断するために実施する(8)適性検査・面接」
- 採用選考を行う際の留意事項
- ⑧「尊重する人物」
 - ⑨「思想」
 - ⑩「労働組合(加入状況や活動歴など)」「学生運動など社会運動」
 - ⑪「購読新聞・雑誌・愛読書など」
 - ⑫「身元調査など」の実施
 - ⑬「全国高等学校統一応募書類・JIS規格の履歴書(様式)」の使用
 - ⑭「合理的」
 - ⑮「客観的」
 - ⑯「客観的に必要と認められない採用選考の実施」
 - ⑰「健康診断」
 - ⑱「採用のための作文は、チームへの理解や自分の考え方を整理して文章で他人に伝える能力など、求める職種の職務遂行に必要な適性能力(知識)を判断するために実施する(8)適性検査・面接」
- 採用選考を行う際の留意事項
- ⑧「尊重する人物」
 - ⑨「思想」
 - ⑩「労働組合(加入状況や活動歴など)」「学生運動など社会運動」
 - ⑪「購読新聞・雑誌・愛読書など」
 - ⑫「身元調査など」の実施
 - ⑬「全国高等学校統一応募書類・JIS規格の履歴書(様式)」の使用
 - ⑭「合理的」
 - ⑮「客観的」
 - ⑯「客観的に必要と認められない採用選考の実施」
 - ⑰「健康診断」
 - ⑱「採用のための作文は、チームへの理解や自分の考え方を整理して文章で他人に伝える能力など、求める職種の職務遂行に必要な適性能力(知識)を判断するために実施する(8)適性検査・面接」

問合せ先：東京都産業労働局雇用就業部労働環境課 03-5332-4649

工団連からのお知らせ

第19回たま工業交流展 に出展しPR活動

工団連は本年度も2月20日～21日の両日、東京都立多摩職業能力開発センターで開催された「第19回たま工業交流展」に出展し工団連をPRした。本交流展はたま工業交



たま工業交流展工団連ブース

流展実行委員会が主催するビジネスフェアで多摩地区最大の工業イベントである。工団連は多摩地区でのPR活動の一環として、平成28年度より出展し今年度で4回目となる。19回目の開催となる今回も、多摩地区全域のみならず、近県からも魅力

工団連ブースでは本年もパネル展示と事業紹介の配布、PR映像の放映と共に、世田谷工業振興協会との連携により同協会が会員企業と共同で開催した「ローラー避難誘導塔A・E TOWER(1

今年も、開催テーマ「来てー見てー知ろうー多摩の技術力ー」のもと、多くの関係者が来場し業種を超えた交流や商談が活発に行われた。

尚、2月19日に開催を予定していた「江戸・TOKYO」とテクノの融合展2020は、感染が拡大している新型コロナウイルス対策を理由に前々日に急遽開催中止となった。

工団連相談役 信川仁道氏死去

学工業術社長信川仁道氏が令和元年12月30日逝去

されました。享年93歳。平成9年5月から平成23年5月迄工団連副会長、平成23年5月からは相談役として永きにわたり、工団連役員の仕事に担ってこられました。

「新入社員合同ビジネスマナー研修」開催 工団連諸会議・令和2年度通常総会日程

工団連は会員企業の新入社員を対象とした「新入社員合同ビジネスマナー研修」を33地域団体共催で実施する。

【実施日】4月6日(月)～7日(火) 2日間共

【実施時間】2日間共

【会場】東京都中小企業会議室

【参加費】8,000円

【実施時間】2日間共

【実施日】5月11日(月)

【実施時間】15:30～

リーダーシップ研修報告

工団連では、令和元年度「中堅社員リーダーシップ研修」を2月13日に銀座プロサム中央会館7階会議室(シヤスミン)で開催。7地域団体、8企業から11人が参加。参加した会員企業の中堅社員は先生の講義とグループワークに真剣かつ積極的に取り組んでいた。

本研修は、工団連が主催する令和元年度研修企画第3弾として開催したもので、各地域団体事務局の協力により開催した。研修は、舟久保会長の開講の挨拶の後自己紹介が始まったが、各社の明日を担う中堅社員の面々



開会の挨拶を述べる舟久保会長

「異業種・他社の仲間との交流は刺激になった」と改めて、リーダーシップを考へる良い機会を得られた。自分

とともにケーススタディとディスカッションを取り入れることで知識の習

得だけでなく、実践的な理解も目指した。その結果、終了後のアンケートでは、受講者全員が「有意義だった」「今後に役立つ内容」と回答。また、具体的な意見も「リーダーとしての足りない部分に気づかされた」

2地域団体3月の動き

3月も工団連加盟の地域団体が各地で「展示会」「等活発なものづくり活動」を予定している。

今年も「第13回しまMononokuriメッセ」が3月5日(木)～3月7日(土)の3日間池袋のサンシャインシティ展

【実施時間】2日間共

【実施日】5月11日(月)

【実施時間】15:30～

【実施時間】2日間共

【実施日】5月11日(月)

【実施時間】15:30～

東京ビッグサイトイベント案内(令和2年3月～5月)

※ものづくりに関係するイベントのみ掲載しています。
※スケジュールは変更になる場合がございます。必ずHP等でご確認下さい。
東京ビッグサイトイベントウェブサイト: <http://www.bigsight.jp/event/>

会期	来場区分	イベント名	主催者	問合せ先
3/3日(火)～3/6(金)		建築・建材展 2020(第26回)	日本経済新聞社	03-6256-7355
3/16(月)～3/20(水)	商談	P-MEC Japan 2020(医薬品原料・機械装置展2020)	UBMジャパン(株)	03-5296-1020
		CP HI Japan 2020(医薬品原料・機械装置展2020)		
		Medtec Japan 2020 医療機器の設計と製造に関する展示会・セミナー	Medtec Japan事務局	03-5296-1034
		ElectroMED Japan 2020 医療用エレクトロニクス展		
4/1(水)～4/3(金)		第3回 AI・人工知能EXPO【春】		03-3349-8507
4/8(水)～4/10(金)	商談	Japan IT Week 春 2020		
		第9回 IOT/M2M展(春)		
		第23 組込みシステム 開発技術展【春】	リードエグジビジョンジャパン(株)	03-3349-8504
		第22回 データセンター&データストレージ EXPO【春】		
		第17回 情報セキュリティ EXPO【春】		
4/10(金)～4/11(土)	商談/一般	第46回 ジャンボびっくり見本市	ジャンボびっくり見本市協催委員会	06-6533-6266
4/15(水)～4/17(金)	商談/一般	第15回 オフィスセキュリティ EXPO	リードエグジビジョンジャパン(株)	03-3349-8515
		第14回 オフィス防災EXPO		
5/20(水)～5/22(金)	商談/一般	電子機器トータルソリューション展2020	(一社)日本電子回路工業会他	03-5310-2020
		マイクロエレクトロニクスショウ	(一社)エレクトロニクス実装学会	

令和元年度

東京工団連会長表彰受賞者名簿

78人に表彰状と記念品

令和元年度東京工団連
会長表彰受賞者全78名
（役員表彰の部6名・従
業員表彰の部72名）は左
記のとおり。（敬称略）

役員表彰の部6名

- 【(一社) 文京区商工協
会】3名
株式会社不動産 小能大介
株式会社 松沼智子
株式会社 安藤 隆

- 【(一社) 富坂産業協会】
1名
共立速記 吉岡 新

- 【(一社) 練馬産業連合
会】2名
西貝自動車 西貝一治
株式会社 五十嵐和

- 【(一社) 江戸川工場協
会】1名
宮本警報器 高橋正巳

従業員表彰の部72名

- 【(公社) 世田谷
工業振興協会】
2名
東洋ドライープ

- 【(一社) 戸塚総合経営
会】1名
正田浩一、河合

協賛会】4名

- 株式会社 アリミノ 千賀慎悟
神山 大樹、箕井 公徳
太田 武志

- 【(一社) 富坂産業協会】
7名
株式会社 イルド本社 青木
孝成、中野 義広、一色
靖子、山崎 順子、金子
真展、升屋 香奈子、芹
澤 恵理子

- 【渋谷区工業協会】6名
株式会社 細谷政
徳、佐々木 健一
長島 樹包
進藤 大、山田
幸司

- 多治見無線電機 機
石川 隆文、知久
昭

- 【(一社) 品川産業協
会】12名
金子 産業 長谷川 浩司
株式会社 結城秀
雄

来賓紹介

- 正之
【三田工業会】9名
五十嵐 冷蔵 高田 雄
介、渡邊 利恵、永井 雄
大、横山 勝盛、辻村 太
一、高橋 宏和、三坂 岳
人、中三川 広幸、

東京工団連会長表彰式



従業員表彰者集合写真



団体役員表彰者集合写真



来賓紹介



東京都土村商工部長



株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

株式会社 マテリアル細貝社長

東京都副知事 多羅尼 光睦 様
 東京都民ファーストの会 増子 ひろき 様
 東京都民ファーストの会 荒木 ちはる 様
 東京都民ファーストの会 木村 基成 様
 東京都産業労働局商工部 土村 武史 様
 東京都産業労働局商工部 佐藤 志信 様
 東京都産業労働局雇用就業部 篠原 志敏 様
 東京都産業労働局雇用就業部 小寺 裕之 様
 東京都産業労働局雇用就業部 保坂 政彦 様
 (公財) 東京都中小企業振興公社 宮武 和弘 様
 (公財) 東京都中小企業振興公社 奥村 次徳 様
 (地独) 東京都立産業技術研究センター 大泉 幸乃 様
 (地独) 東京都立産業技術研究センター 松枝 米村 様
 (一社) 東京都中小企業診断士協会 米村 達郎 様
 東京商工会議所中小企業部 佐藤 栄 様
 (株) 東京国際フォーラム 豊田 国寿 様
 (株) 日刊工業新聞社東京支社 松井 明 様
 編集部長 山本 好治 様
 (一財) 全国中小企業共済財団 春山 佳佑 様
 業務部部長 宇野 虎雄 様
 (一財) 全国中小企業共済財団 宇野 虎雄 様
 業務部業務3課長 大山 忠一 様
 (一財) 全国中小企業共済財団 井上 治三郎 様
 業務部業務3課長 井上 治三郎 様
 (一社) 東京工業団体連合会 顧問 井上 治三郎 様
 (一社) 東京工業団体連合会 相談役 井上 治三郎 様
 (一社) 東京工業団体連合会 相談役 井上 治三郎 様

〈来賓出席者〉



最新鋭コンピュータ制御 CNC円筒研削盤



冷間圧延ロール

株式会社 シントク 代表取締役社長

田中 雄大

企業リレー探訪 ⑧

当社は圧延製造する際、住宅のステンレス流し台です。これは一枚のステンレス薄板をプレスして製造されます。

関係の専門メーカーで「冷間圧延」とは、冷たい常温の鋼板や銅板の圧延のことを言います。

ロールの役割は平たく言えば「餅などをつぶして延ばす」のし棒です。つまり、「冷たい常温の鋼板や銅板を、上下のロールではさんで、直接つぶして薄く延ばす」ための使われるのが冷間圧延ロールです。このように使われ方をします。

弊社が製造するロールは「非常に硬く、頑丈で、摩擦ににくい、かつ高い寸法精度と美しく均一な表面品質」が要求されます。このロールによって圧延された薄板(厚さおよそ3mm~0.1mm)が、そのまま売り物となります。品質要求は非常に厳しいものです。

例えば、このように製造されたステンレス鋼板を用いて造られるものと、特殊ロールという社名ですが、略して「しんとく」と呼ばれていたことから、現在の「シントク」という社名に変更しました。

創業以来、圧延ロールの製造販売に経営資源を集中することで、高品質かつコスト競争力のあるロールを供給し、手摺りでの対応できないきめ細かい顧客対応に

よって、業界で一定の地歩を築いてまいりました。

その結果、日本製鉄(旧新日鐵住金)、JFEスチール、神戸製鋼所、日本冶金工業、日本金属、JX金属、三菱伸銅館をはじめ、国内ほぼすべての鉄鋼・伸銅メーカーと取引があり、国内シェアは7~8割を維持しています。さらに、現在売上の約7割は海外への輸出であり、国内外含めると80社近くに及ぶ顧客との取引があります。

主な輸出先は、韓国、中国(台湾)、ベトナムなどでアジアがメインです。

ロールは圧延に使用さ

きめ細かな顧客対応で地歩構築

非常に硬く、頑丈で、摩擦ににくい、かつ高い寸法精度と美しく均一な表面品質」が要求されます。このロールによって圧延された薄板(厚さおよそ3mm~0.1mm)が、そのまま売り物となります。品質要求は非常に厳しいものです。

例えば、このように製造されたステンレス鋼板を用いて造られるものと、特殊ロールという社名ですが、略して「しんとく」と呼ばれていたことから、現在の「シントク」という社名に変更しました。

創業以来、圧延ロールの製造販売に経営資源を集中することで、高品質かつコスト競争力のあるロールを供給し、手摺りでの対応できないきめ細かい顧客対応に

よって、業界で一定の地歩を築いてまいりました。

その結果、日本製鉄(旧新日鐵住金)、JFEスチール、神戸製鋼所、日本冶金工業、日本金属、JX金属、三菱伸銅館をはじめ、国内ほぼすべての鉄鋼・伸銅メーカーと取引があり、国内シェアは7~8割を維持しています。さらに、現在売上の約7割は海外への輸出であり、国内外含めると80社近くに及ぶ顧客との取引があります。

主な輸出先は、韓国、中国(台湾)、ベトナムなどでアジアがメインです。

ロールは圧延に使用さ

(一社) 板橋産業連合会所属
 設立: 1964年4月
 資本金: 1,500万円
 事業内容: 冷間圧延ロール製造・販売、熱処理委託加工